

# 排出削減実績報告書

## 排出削減事業の名称：

卸売市場におけるインバーター制御機器  
(エコビジョン)導入による排出削減事業

排出削減事業者名：大田市場事務棟空調設備共同利用団体

排出削減事業共同実施者名：環境経済株式会社

その他関連事業者名：

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	大田市場事務棟空調設備共同利用団体
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	大田市場 事務棟
住所	東京都大田区東海3-2-1
排出削減事業共同実施者(国内クレジット保有予定者)	
排出削減事業共同実施者名	環境経済 株式会社
その他関連事業者	
関連事業者名	

## 2 排出削減事業概要

### 2.1 排出削減事業の名称

卸売市場におけるインバーター制御機器(エコビジョン)導入による排出削減事業

### 2.2 排出削減事業の目的

空調用1次・2次・冷却水ポンプをインバーター制御することで、空調負荷に応じた送水を行い、消費電力およびCO2排出量の削減を図る。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

設備更新前の空調用1次・2次・冷却水ポンプは、ポンプの定格能力で送水を行っていた。これを空調負荷に応じた運転制御により送水し、消費電力の削減を図る。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか？	■はい □いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか？	■はい □いいえ

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2011年 9月 1日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年 4月 1日 ~ 2016年 3月 31日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
005	間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御によるポンプ・ファン類 可変能力制御機器の導入

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位
ベースライン電力使用量 (kWh)	稼働時間(h)	事業実施前電力使用量(kWh/年)
		事業実施前稼働時間(h/年)

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

当事業所では、事業実施前後においてポンプは常時稼働できる状態にある。  
よってポンプ稼働時間を、空調設備のエネルギー使用量に最も影響を与える  
活動量として採用する。

#### 4.3 事業の範囲(バウンダリー)

大田市場事務棟における、インバーター制御対象の空調の1次・2次・冷却水ポンプの出力の  
及ぶ範囲である。

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、)変更理由
$EC_{\text{before}}$	事業実施前モーター定格電力 (1次・2次・冷却水ポンプ)	kW	(1次・2次) 26kW × 6台 (冷却水) 75kW × 2台	ポンプ仕様書の数値	
$\alpha_{\text{BL}}$	事業実施前活動量 (1次・2次・冷却水ポンプ)	h/年	(1次・2次) 8,028.6 (冷却水) 1,744.93	H22年度のポンプ電力使用量 より算出	
$EL_{\text{before}}$	事業実施前電力使用量 (1次・2次・冷却水ポンプ)	kWh/年	(1次・2次) 208,738 (冷却水) 130,870	H22年度ポンプ電力使用量を 管理システムにより計測	
$\beta_{\text{PJ}}$	事業実施後活動量 (1次・2次・冷却水ポンプ) ( $1 \leq t < 2.5$ )	h	(1次・2次) 8,194 (冷却水) 1,947	エコビジョンによる計測	
	事業実施後活動量 (1次・2次・冷却水ポンプ) ( $2.5 \leq t$ )		(1次・2次) 18,055 (冷却水) 4,216	エコビジョンによる計測	
$EL_{\text{PJ}}$	事業実施後電力使用量 (1次・2次・冷却水ポンプ) ( $1 \leq t < 2.5$ )	kWh	31,524	エコビジョンによる計測	
	事業実施後電力使用量 (1次・2次・冷却水ポンプ) ( $2.5 \leq t$ )		64,828	エコビジョンによる計測	
$CEF_{\text{electricity,t}}$	電力の二酸化炭素排出係数 ( $1 \leq t < 2.5$ )	t-CO <sub>2</sub> /kWh	0.000562	デフォルト値	
	電力の二酸化炭素排出係数 ( $2.5 \leq t$ )		0.000554	デフォルト値	

## 7 排出削減量の計算

### 7.1 事業実施後排出量

活動量 (kWh)	単位発熱量	排出係数	CO2排出量 (t-CO2)
31,524		0.000562	17.7
64,828		0.000554	35.9
$EM_{pj}$			53.6

### 7.2 ベースライン排出量

活動量 (kWh)	単位発熱量	排出係数	CO2排出量 (t-CO2)
359,063		0.000562	201.8
785,618		0.000554	435.2
$EM_{BL}$			637.0

### 7.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2排出量 (t-CO2)
			0
			0
LE			0

### 7.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	CO2排出量 (t-CO2)
ベースライン排出量 (7.2)	$EM_{BL}$	637.0
事業実施後排出量 (7.1)	$EM_{pj}$	53.6
リークージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	583

## 8 省エネルギー量

原油換算 (kL)		
ベースライン(①)	実績(2)	ベースライン-実績(①)
294.4	24.8	269.6

$$\text{省エネ量} = 294.4 \text{ (kl)} - 24.8 \text{ (kl)} = 269.6 \text{ (kl)}$$

## 9 再生可能エネルギー利用量

	単位	モニタリング期間( 年 月 日 ~ 年 月 日)		
		エネルギー使用量(実績)	熱量換算(GJ)(実績)	原油換算(kl)(実績)
バイオマス利用量	t			
バイオマス熱利用量	GJ			
太陽光発電量	kWh			
温泉熱・温泉排熱利用量	GJ			
バイオコークス利用量	t			
太陽熱利用量	GJ			
小水力発電量	kWh			
雪氷融解水熱利用量	GJ			
風力発電量	kWh			
バイオディーゼル燃料使用量	kl			

・本事業において再生可能エネルギーは使用しない